

施設名

がん化学療法に伴い
フェブキソスタット錠を服用される
患者さんご家族の方へ

—腫瘍崩壊症候群について—

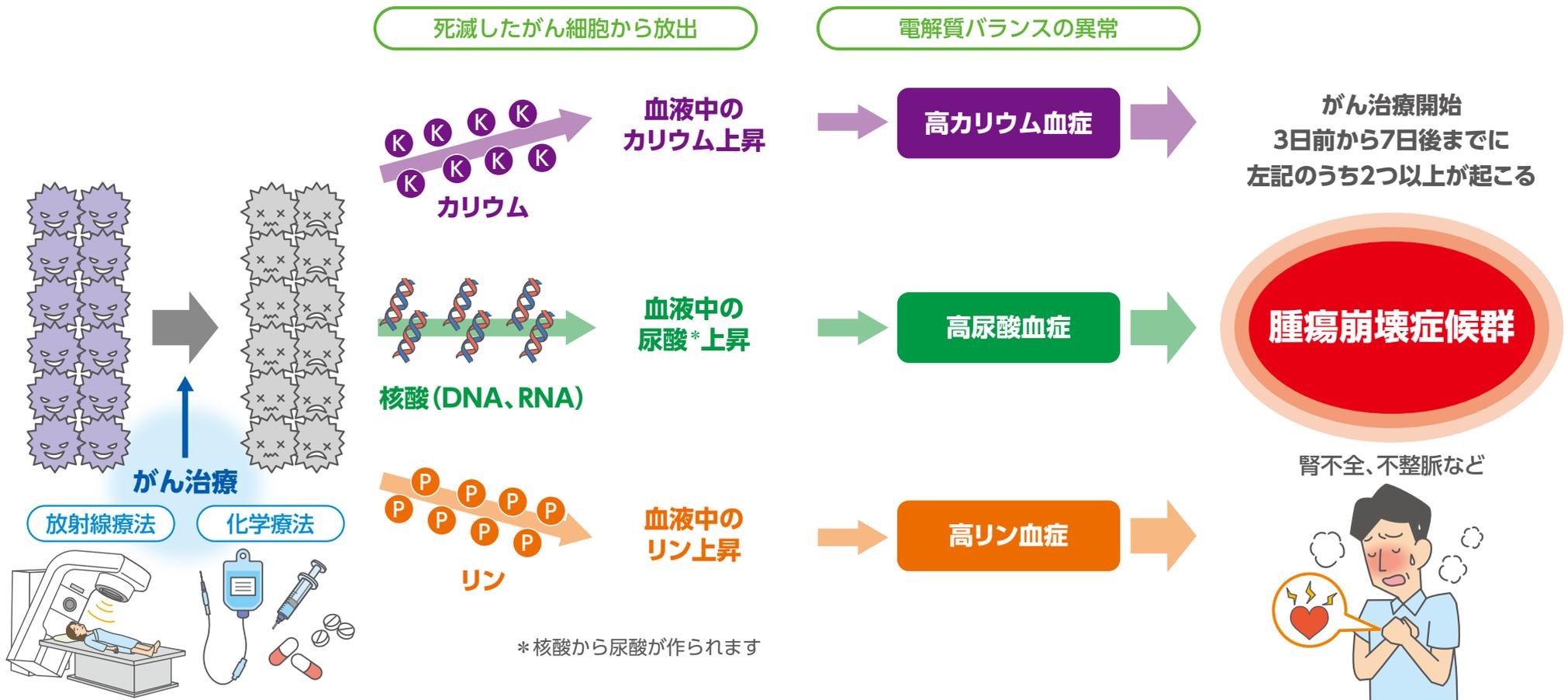
監修 筑波大学 血液内科 教授 千葉 滋 先生

腫瘍崩壊症候群について

腫瘍崩壊症候群とは、抗がん剤や放射線の治療によってがん細胞が急速に死滅した際に、がん細胞の中からカリウム、核酸 (DNA、RNA)、リンなどの成分が血液中に大量に放出されて体内の電解質バランスが崩れ、高カリウム血症、高尿酸血症、高リン血症を引き起こす状態です。

通常、がん治療開始3日前から7日後までに、高カリウム血症、高尿酸血症、高リン血症のうち2つ以上が起こると腫瘍崩壊症候群と判断されます。腫瘍崩壊症候群になると、腎不全、不整脈などの症状があらわれ、生命に危険が及ぶこともあります。

腫瘍崩壊症候群が起こる仕組み



腫瘍崩壊症候群の症状

腫瘍崩壊症候群は多くの場合、がん細胞が死滅し始める治療開始後12時間～72時間以内に起こります。

がん治療開始からの時間経過と起こる症状は下記の通りです。

下記のように、さまざまな症状があらわれますが、症状から早期発見することは難しいです。そのため、血液検査や尿検査などを定期的に行って、早期発見につなげます。

腫瘍崩壊症候群の各症状

がん治療開始6時間以内

がん治療開始24～48時間後

がん治療開始48時間以降

高カリウム血症

症状 筋力の低下、筋肉のけいれん、感覚の異常、吐き気、嘔吐など
重症になると不整脈が起こることがあります



高尿酸血症

(急性腎不全)

尿酸が腎臓に沈着して『急性腎不全』を起こします。

症状 尿量が少ない、尿がほとんど出ない、尿が多くなる、発疹、むくみ、だるいなど



高リン血症

症状 吐き気、嘔吐、下痢、
眠気、けいれん

低カルシウム血症

リンが高くなることで血液中のカルシウムが低下します

症状 しびれ、筋肉が固まる(テタニー)、感覚の異常、不整脈、低血圧、心不全など

腫瘍崩壊症候群の予防・治療

重要なポイント

腫瘍崩壊症候群は、発症しないように予防すること、重症化させないことがとても大切です。そのため、がん治療を開始する前に血液検査などから腫瘍崩壊症候群の起こりやすさ(リスク)を評価し、それに応じた予防・治療を行います。

がん治療前、治療直後に行う検査

下記の検査などから、腫瘍崩壊症候群の起こりやすさを評価します。

血液検査

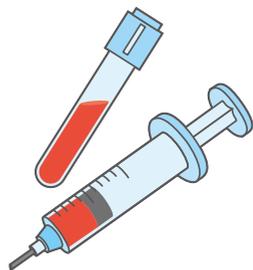
電解質：尿酸、カリウム、リン、カルシウム、尿酸脱水素酵素 (LDH)

腎機能：クレアチニン、血中尿素窒素 (BUN)

尿検査

腎機能：尿量、尿pH、尿蛋白など

心電図



腫瘍崩壊症候群の予防・治療

腫瘍崩壊症候群の起こりやすさや、がん治療開始後の経過によって、下記の予防・治療を行います。

水分補給

尿酸やリンの尿中への排泄を増やすために、水分を多く摂取したり、点滴で水分を補給したりします。

利尿薬

尿の量を増やす薬を使用することがあります。

高尿酸血症の予防治療

尿酸が作られるのを防ぐ薬や尿酸を分解する薬を使用することがあります。

高リン血症・低カルシウム血症の治療

カルシウム薬の投与や透析療法を行うことがあります。

高カリウム血症の治療

高カリウム血症を改善する薬やインスリンの投与、透析療法などを行うことがあります。

フェブキソスタット錠について

重要なポイント

高尿酸血症の予防・治療のために大切な薬です。
フェブキソスタット錠は、体内で尿酸が作られるのを抑えて、血液中の尿酸の量を低下させる薬です。

がん治療による 高尿酸血症



フェブキソスタット錠 を服用



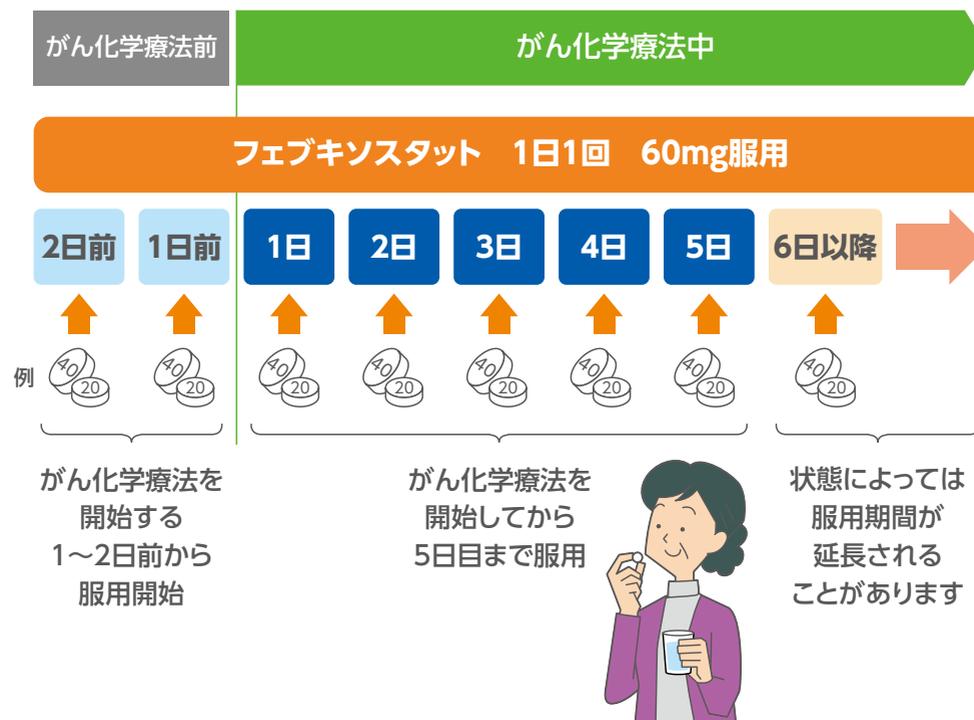
尿から排泄される尿酸の量には限界があります。
尿酸が多量に作られると排泄しきれずに血中に溜まり、
腎臓に蓄積することで腎機能が低下します。

フェブキソスタット錠の服用方法

重要なポイント

尿酸を減らしておく必要があるため、指示通り必ず服用してください。
がん治療開始1～2日前から開始5日目まで、フェブキソスタットとして
60mgを1日1回服用します。

「がん化学療法に伴う高尿酸血症」 服用スケジュール例



尿酸値やからだの状態などによって、服用期間が変更になることがあります。

フェブキソスタット錠を服用する前について

フェブキソスタット錠を服用する前に、下記の項目を確認してください。
該当する項目がある場合は、すみやかに医療スタッフに伝えてください。

	体調・条件	チェック
1	これまでにフェブキソスタット錠を服用してアレルギー症状が出たことがある。	
2	腎臓の機能が悪いと指摘されたことがある	
3	肝臓の機能が悪いと指摘されたことがある	
4	妊娠している、妊娠している可能性がある	
5	授乳中である	

以下の薬を服用している場合は注意が必要になりますので、処方医におくすり手帳を確認してもらいましょう。

6	抗がん剤（メルカプトプリン水和物）または免疫抑制剤（アザチオプリン）を服用している	
7	抗ウイルス薬（ビダラビンまたはジダノシン）を服用している	

フェブキソスタット錠の副作用

フェブキソスタット錠の服用中に下記のような副作用があらわれることがあります。

- 関節の違和感、むずむず感、
「痛風発作」の前兆
- 関節の痛み
- 手足の不快感
- 手足の痛み
- 下痢



下記のような症状があらわれれば、服用を中止して、速やかに医療スタッフに相談してください。

- 全身がだるい
- 食欲がない
- 皮膚や白目が黄色くなる
- 全身の皮疹や発疹



そのほか気になる症状がありましたら、
医療スタッフに相談してください。